

第2期中期戦略と今後予想される諸課題提起



市政同志会2015
むらた しげゆき
村田 茂之

その他の 質問事項

- ▼生活困窮子育て世代の実態把握
- ▼将来的な空き家予備群の認識と長期的対応

◆中期戦略の構想と評価

問 前回12月議会では中期戦略第1期の成果を確認した。今回は、第2期の構想について伺う。まず期待したい戦略レベルや挑戦的な事業は何か。

答 知恵と行動により新たな価値を創造していく。第一に地域産品のみでなく、良いサービスを活用し「都市ブランド化」を図る。第二に「ミチカラ・プラス」で政策課題や市民・民間が抱える地域課題に向け協働で取り組む。第三はオープンイノベーション事業で、塩尻発の新たな付加価値を創出していく。

問 基本戦略の主対象が市民に関連付けられるが、「市民視点」での期待できる事業は何か。

答 直結する事業として、「親子の健康未来サポート事業」、「若者・女性就労支援対象事業」がある。

問 「市民・企業・NP〇等への期待」について、

計画ではどのように位置づけているか。

答 多様な主体が参画する「共創」の概念を重視する。例えばコミュニティ・スクールについては基盤が整いつつあり、シニア世代の学校運営への貢献を期待している。

問 子育てしたくなるまち、日本一の戦略的事業は。

答 安心して妊娠、出産、子育てができる切れ目のない包括的な支援体制を目指す。そのため養育支援訪問員の配置、児童館の充実による子どもの放課後の居場所対策など働く世帯の子育て支援を図るほかまた、宿泊型産後ケア事業、母乳相談等助成事業等を構築していく。



今回主題の中期戦略と関係システム

議員による政策提案を

議会運営委員会 視察報告（平成30年1月18日、19日）

京都府福知山市議会

「タブレット端末導入の経過と効果について」

情報公開の推進、市民参加、議会機能強化を三本柱に議会改革に取り組み、議員自らが視察対応をし、説明していただいた。

タブレット導入についても議会からの提案であり、その効果は、議会内での情報共有や議員への連絡通知の電子化により人的、金銭的両面のコスト削減につながっているようだ。タブレット導入コストについては、通信費は公費と私費の折半で、自己負担分を政務調査費対応としていた。

基本的なペーパーレスによる議会運営をしております。視察説明もタブレット端末で行っていたのが印象的であった。

兵庫県宝塚市議会

「議会による政策提案について」

議会改革の進行に伴い、基本条例の目的に沿いながら、運用の変更が発生した場合に条例本文や規則をその都度変更し、手堅い条例運用を実施していた。各常任委員会の審査報告書は、すべての質疑の要旨を報告書として作成、公開していた。

また政策提案の制度を福知山市同様に整備しており、政策検討会を設置し、各会派からの参加者のもとに研究提案できる仕組みが確立されていた。私たちの塩尻市議会においても、同様に議員間で議論を重ねて政策を練り上げ、行政側に提案していく「政策提案制度」を考えていくべきではないだろうか。



福知山市議会議場